

丸山幸一の仕事

— 彫刻・切り絵・パブリックアート —

2027年2月12日(金)～4月18日(日)

丸山幸一氏(1949-)は射水市在住の彫刻家で、二紀会委員、富山県美術連合会常任相談役として活躍中です。墨色に染めた幻想的な彫刻、万葉集などを題材とした切り絵、人気アニメのキャラクターなどをかたどったパブリックアート。魅力あふれる豊かな作品世界を紹介します。



白勝て!白勝て!
平成29年(2017) 第71回二紀展

展示室 2

高樹文庫

江戸時代後期、射水郡高木村(射水市)に生まれた石黒信由以下4代の和算・測量・絵図作製などに関わる高樹文庫資料(うち「石黒信由関係資料」は重要文化財)を展示しています。信由は自ら工夫した精巧な測量器具で加越能三州(富山・石川県)をくまなく歩いて測量し、正確な絵図をつくりました。

利用案内・交通案内

開館時間 午前9時から午後5時まで
(入館は午後4時30分まで)

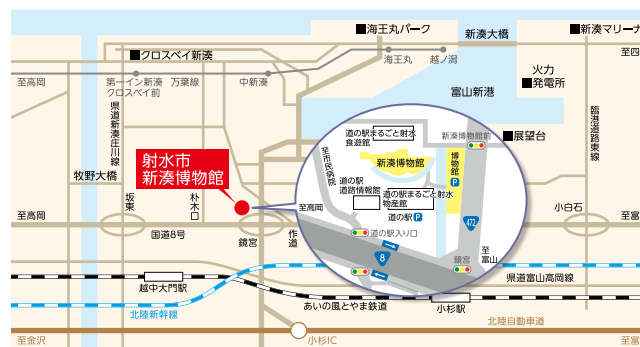
休館日 火曜日及び祝日の翌日
(ただし、祝日の翌日が土曜日又は日曜日の場合は開館)
年末年始(12月28日～1月4日)
臨時の開館又は休館があります

観覧料

区分	個人	団体(20名以上)
一般	310円	250円
65歳以上又は障がいのある方	150円	120円
中学生以下	無料	

※ 障がいのある方の付添1名無料
※ 「孫とおでかけ支援事業」対象施設です

交通案内 万葉線中新湊駅からタクシーで約6分
あいの風とやま鉄道小杉駅からタクシーで約10分
北陸道小杉I.C.から国道472号を車で北へ約15分



射水市新湊博物館

〒934-0049 富山県射水市鏡宮299番地
TEL:0766-83-0800 FAX:0766-83-0802

E-mail:hakubutsu@city.imizu.lg.jp URL:https://shinminato-museum.jp/



SCHEDULE 2026.4-2027.3



射水市新湊博物館

道の駅
まるごと射水

〒934-0049 富山県射水市鏡宮296
TEL (0766) 83-0111



放生津の豪商 柴屋の宝物

2026年4月24日(金)～7月26日(日)

柴屋は、江戸時代の越中(富山県)の豪商で、代々彦兵衛または彦右衛門と称しました。加賀前田家と材木を取引し、北前船交易に乗り出したほか、放生津町(射水市)の自治を担う町年寄を勤めました。これまで子孫から寄贈いただいた歴史・美術・文芸資料を紹介します。



「虎図」屏風 岸岱
嘉永5年(1852) 当館蔵

展示室 1

地域の歴史

日本海海運の要衝である放生津は、射水平野の村々と関わり合って発展してきました。その特徴ある歴史・民俗を「中世都市放生津」、「湊の民の心」、「射水の水郷」のテーマにより紹介しています。

没後10年 郷倉和子

— 自然との語らい —

2026年7月31日(金)～11月3日(火・祝)

射水市名誉市民で院展同人の日本画家・郷倉和子(1914—2016)が亡くなって今年で10年。女子美術専門学校(女子美術大学)時代から晩年までの作品により、80余年に及ぶ画業の歩みを振り返ります。自然への慈愛のまなざしをぜひ感じてみてください。



高原の秋
昭和8年(1933) 当館蔵

● ガイダンスルーム

江戸時代の測量家石黒信由、人間国宝の陶芸家石黒宗麿、射水の祭りなどを紹介する映像をご覧になれます。

● ミュージアムショップ

石黒信由の絵図の複製や展示図録などをお求めになれます。

● ワークショップ

企画展の内容や季節、年中行事に関係のあることをテーマに楽しく「ものづくり」をします。

ユネスコ無形文化遺産登録記念特別展 放生津八幡宮祭の曳山・築山

2026年11月27日(金)～2027年2月7日(日)

放生津八幡宮(射水市八幡町)で、秋季例大祭に合わせ9月30日から10月2日まで行われる「放生津八幡宮祭の曳山・築山行事」。昨年12月、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。このことを記念し、行事の歴史や魅力を、築山の実物展示や関係資料により紹介します。



放生津八幡宮祭の曳山

● 体験学習

石黒信由に関わる測量を体験学習できます(要予約)。旧測量庭園が「はかろっと広場」に生まれ変わりました。全国初の「光を感じる日時計」や、面積・距離を体感しながらクイズに答えるコーナーがあります。



日本初 光を感じる日時計